

教科	工 業	科目	工業技術基礎	単位数	2 単位	学年	1 学年
学科	機械造船科	コース		教科書	工業技術基礎（実教出版）		
副教材	機械実習 1（実教出版）						
学習目標	工業に関する基礎的な技術を実験や実習によって体験し、各分野における工業技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解し、広い視野と倫理観を養い、工業の発展をはかる意欲的な態度を身に付けることができる。						

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
				知 技	思 判 表	主 体	
1 学 期	4月	1 旋盤実習 (1) 各部の名称 (2) 旋盤の使い方 (3) 基本作業	・旋盤の基本操作を習得する。また、測定機器の使用方法を理解している。	◎	○	○	
	5月	(4) ノギスの使い方 (5) 段付き丸棒の製作 (6) 段付き丸棒の製作 (7) まとめ					
	6月	2 溶接実習 (1) 溶接法・溶接作業法の安全 (2) ガス切断の原理・設備・器具 (3) ガス切断の操作方法 (4) ガス溶接（材料取り） (5) ガス溶接の操作方法 (6) アーク溶接の基本操作 (7) ストレートビードの置き方					
	7月						
	8月						
	9月	3 計測・船の基礎 (1) ノギスの使い方 (2) 外側マイクロメータの使い方 (3) シリンダゲージの使い方 (4) 外側マイクロメータの器差測定 (5) 三針法によるねじのプラグゲージの有効径測定 (6) 船の基礎理論 (7) 模型船の製作					
	10月						
2 学 期	11月		・船の基礎知識を理解し、模型船の製作を行うことで船の構造を理解している	○	◎	○	
	12月	4 手仕上実習 (1) 手仕上げのあらまし (2) やすり作業の基本 (3) 文鎮の製作・けがき作業 (4) 文鎮の製作・やすり作業 (5) 文鎮の製作・やすり作業 (6) 文鎮の製作・穴あけ作業 (7) 文鎮の製作・ねじ立て作業	・手仕上げ作業の種類を理解し技能を習得する。また、文鎮の製作を行うことにより各種工具の使用法を理解している	○	○	◎	
	1月						
3 学 期	2月						
	3月						

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	・実習の作業過程で、観察・質問や小テスト等で適時適切に3観点による観点別評価を行う。 ・各ショップごとに実習内容や課題についてレポートにまとめさせて提出させ、その内容と考察について評価する。 ・学習過程の形成的評価を活用するとともに、生徒の自己評価、相互評価も参考とする。
------	--